



Santen



第103期中間
株主通信

2014年4月1日 ▶ 2014年9月30日

参天製薬株式会社

証券コード：4536



世界で存在感のある スペシャリティ・カンパニーの実現に向けて

参天製薬は眼科とリウマチ領域に特化したスペシャリティ・カンパニーとして、人々の目とからだの健康維持・増進に寄与してきました。国内では、医療用眼科薬市場でトップシェアを堅持しています。製品を販売している国は50カ国以上。世界の4カ所に工場を構え、日本、アメリカ、欧州に広がるグローバルな研究開発ネットワークを構築しています。

2014年8月には、2020年までの長期的な経営ビジョン「世界で存在感のあるスペシャリティ・カンパニー」の実現に向けて、「2014-2017年度中期経営計画」を策定しました。中期経営計画では、持続的な成長を可能とする製品創製、事業展開、

人材育成に取り組み、2017年度にはアジア・欧州での成長と収益化、米国・その他への展開準備を完了することを目標としています。また2014年5月には、米国メルク社から緑内障治療薬を譲受する契約を締結しました。

参天製薬は、これからも基本理念に基づき、真の顧客ニーズを深く考え、競合企業に対する明確な強みをもって、グローバルな競争力・存在感を持つ「世界で存在感のあるスペシャリティ・カンパニー」の実現を目指し、患者さんと患者さんを愛する人たちに貢献していきます。

基本理念

天機に参与する^{*2}

「目」をはじめとする

特定の専門分野に努力を傾注し、

これによって参天ならではの

知恵と組織的能力を培い、

患者さんと患者さんを愛する人たちを中心として、

社会への寄与を行う。

^{*2} 中国の古典「中庸」の一節を参天が独自に解釈したもので、社名「参天」の由来でもあります。自然の神秘を解明して人々の健康の増進に貢献するということを意味しています。

2013

前中期経営計画終了時点
(2011-2013年度中期経営計画)

国内のさらなる基盤強化
アジア・欧州展開準備完了

グローバル **TOP5**

海外売上高比率 **16%**

2020年までに目指す姿

2020

長期的な経営ビジョン

世界で存在感のある
スペシャリティ・カンパニー

グローバル

TOP3以内

海外売上高比率

40-50%

中期的な目標

2017

新中期経営計画
(2014-2017年度中期経営計画)

アジア・欧州の成長と収益化
米国・その他への展開準備

海外売上高比率

30%

A Clear Vision For Life
Santen

「2014-2017年度中期経営計画」がスタート スペシャリティ・カンパニーとしての競争力をより一層強化し、 長期的な経営ビジョン達成につなげていきます。



株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。参天製薬グループは、長期的な経営ビジョンの実現に向けて、2014年8月に「2014-2017年度中期経営計画」を策定しました。持続的な成長を可能とするための製品創製、アジア・欧州での事業展開および新規市場への参入、人材育成に取り組むことにより、製品の継続的上市と海外事業の収益基盤強化を目指します。また、2014年5月に発表した米国メルク社からの製品譲受は、グローバルな緑内障事業の強化、欧州・アジアにおける事業展開の加速に寄与するものであり、中期経営計画実現に向けた大きな足掛かりでもあります。

新中期経営計画の1年目となる2014年度の第2四半期（2014年4月1日～9月30日）までの売上高は、前年同期から3.8%増加の719億2千5百万円となりま

連結財務ハイライト

● 第2四半期累計 ● 通期

売上高 (億円)



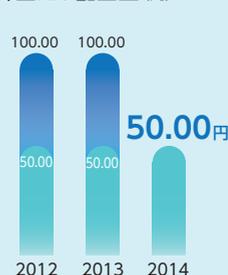
営業利益 (億円)



純利益 (億円)



1株当たり配当金 (円)



した。国内では、薬価改定や消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動などにより減収となりましたが、市場が拡大する滲出型加齢黄斑変性などを適応症とした「アイリニア」は、順調に市場へ浸透しました。海外では、アジア・欧州での主力品の売上拡大が寄与し、売上高は2期連続で2ケタ成長となりました。また、コストの低減と米国メルク社からの製品譲受による原価率低減の貢献により、売上原価は低下したものの、販売費及び一般管理費が増加したことにより、営業利益は8.7%減少の131億9千4百万円、四半期純利益は1.2%増加の90億9千9百万円となりました。

今後も、参天製薬は「世界で存在感のあるスペシャリティ・カンパニー」の実現に向け、未充足な医療ニーズに対応した製品創製や、海外におけるプレゼンスの向上に取り組み、2020年までにグローバル眼科薬市場で3位以内に入ることを目指してまいります。株主の皆さまには、一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長兼 CEO

黒川 明

2020年までの長期的な経営ビジョン

「世界で存在感のある
スペシャリティ・カンパニー」の実現

2014-2017年度中期経営計画

基本方針

製品創製

持続的な成長を可能とするための
製品創製への変革、生産性向上の実現

事業展開

アジア・欧州での事業成長および
新規市場参入によるプレゼンスの向上

人材育成

持続的な成長を実現するための
人材育成および組織構築

2017年度数値目標

	目標
売上高	2,050億円以上
営業利益	450億円以上
当期純利益	310億円以上
ROE (自己資本収益率)	13%以上
研究開発費	210億円目標
配当性向	40%を目標

セグメント指標

● 第2四半期累計 ● 通期

医療用眼科薬 (億円)



医療用抗リウマチ薬 (億円)



一般用医薬品 (億円)



医療機器 (億円)



加速するアジア・欧州事業

今回の特集では、「2014-2017年度中期経営計画」において
参天製薬の成長を牽引する「アジア」と「欧州」の事業展開をご紹介します。

事業基盤の強化を加速

近年のトピック

韓国事業

2010年 緑内障・高眼圧症治療剤
「タフロタン」を発売

2013年 ドライアイ治療剤「ジクアス」を発売

中国事業

2012年 蘇州工場が調剤・充填から包装までの一貫製造に
関わる製造業の許可を取得

2013年 参天医薬販売(蘇州) 有限公司を販売会社として設立

アセアン諸国・インド事業

2013年 ベトナムにホーチミン事務所を開設
アセアン諸国における事業推進機能の強化を目的に、
シンガポールに現地法人を設立

アジア

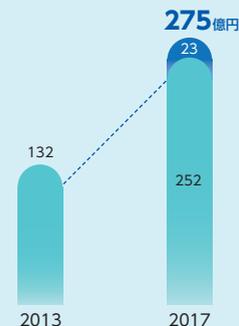
参天製薬は前中期経営計画(2011年度～2013年度)において、中国、韓国、アセアン諸国で大幅に売上を伸ばすことができました。とりわけ主要市場である中国では、この3年間で売上高(現地通貨ベース)が約2倍に成長しました。

経済発展や医療水準の向上に伴い、中国の医療用眼科薬市場は2020年度まで年率20%前後の成長が続く見込みであり、アジア市場全体も引き続き高い成長が見込まれています。

2020年に「アジアNo.1」になることを目指し、新中期経営計画では、中国、韓国、ベトナムを重点国と位置付け、市場成長を上回る売上成長と収益拡大を図ります。また、米国メルク社から取得した緑内障・高眼圧症治療剤の製品を軸とした事業基盤の強化、現地ニーズに合致した競争力のある新製品の投入により、シンガポールやタイ、インドなどの成長市場に本格参入していきます。

アジア事業 売上目標 (億円)

● 既存事業 ● メルク案件*



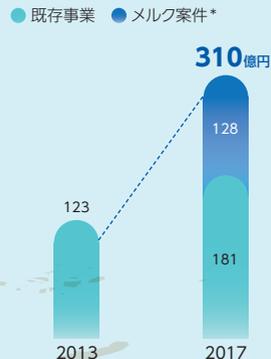
* 米国メルク社から取得した眼科製品からの事業貢献を示す

欧州

欧州では、緑内障・高眼圧症治療剤「タフロタン」が成長を牽引しています。2014年5月には、米国メルク社との間で同社が有する眼科製品を譲受する契約を締結し、緑内障・高眼圧症治療剤の製品ラインアップが強化されました。これにより、これまで事業基盤を有していなかった西欧（ドイツを除く）を含め、欧州56カ国（内、新規参入33カ国）での事業展開が可能となりました。

欧州がメルク案件による売上拡大の効果が最も期待できる地域であり、2017年度売上目標は、2013年度比で約2.5倍の310億円としています。新中期経営計画では、既存製品のさらなる成長に加え、緑内障・高眼圧症領域における製品ラインナップの強化を図ることで、欧州事業の持続的成長と収益性の向上を目指していきます。

欧州事業 売上目標（億円）



* 米国メルク社から取得した眼科製品からの事業貢献を示す

● 新規参入国 ● 既存国

事業展開地域が大幅に拡大

事業展開地域

56カ国

33カ国

アジア事業について、より詳しい内容は、参天製薬が発行する「アニュアルレポート2014」の「特集：眼科領域に貢献する「アジアNo.1」へ」（18～23ページ）をご覧ください。

参天製薬
アニュアルレポート



医療ニーズに合わせた研究開発を推進

参天製薬は、眼科とリウマチ領域に特化した研究開発を推進しています。特に眼科領域では、治療薬がまだ世界的に十分ではない「角膜疾患」や、患者数が増えつつある「緑内障」および「網膜疾患」を重点領域として、医薬品の開発を行っています。2014年11月5日現在、医薬品の開発状況（臨床段階）は以下の通りです。

開発コード	一般名	効能・効果	地域	フェーズ			申請	承認	発売
				1	2	3			
DE-085	タフルプロスト	緑内障・高眼圧症	アジア						2010年3月
			中国						2011年1月
DE-089	ジクアホソルナトリウム	ドライアイ	韓国						2013年10月
			中国						2012年1月
DE-090	ロメリジン塩酸塩	緑内障	日本						
DE-109	シロリムス	ぶどう膜炎	米国						
			日本						
			欧州						
DE-111	タフルプロスト/ チモロールマレイン酸塩	緑内障・高眼圧症	日本						2013年9月
			欧州						2013年6月
DE-117	未定	緑内障・高眼圧症	米国						フェーズ2b
DE-118	タフルプロスト	緑内障・高眼圧症	日本						2013年10月
			アジア						2014年3月
DE-120	未定	滲出型加齢黄斑変性	米国						フェーズ1/2a

以下は、フランスの子会社「サンテン・エス・イー・エス」における医薬品の開発状況です。

シクロカット	シクロスポリン	重症ドライアイ	欧州						2013年12月
			米国						
ペカシア	シクロスポリン	春季カタル	欧州						
カチオプロスト*2	ラタノプロスト	緑内障・高眼圧症	欧州						
コルチジェクト*2	デキサメタゾン パルミチン酸エステル	糖尿病黄斑浮腫	米国						フェーズ1/2

*1 BRVO：網膜静脈分枝閉塞症

*2 カチオプロスト、コルチジェクトの2品は、事業性について評価中。

「アイリーア」の適応が拡大

眼科用 VEGF 阻害剤「アイリーア」について、2014年9月に、「病的近視における脈絡膜新生血管」の適応追加承認を取得しました。「滲出型加齢黄斑変性」および「網膜中心脈閉塞症に伴う黄斑浮腫」の適応に加え、今回で3つ目の適応症となりました。

！ 医薬品が承認されるまで

創薬研究

前臨床試験

臨床試験

申請承認

発売

第1相試験（フェーズ1）

少数の健康人志願者を対象に安全性を確認します。

第2相試験（フェーズ2）

少数の患者さんを対象に当該疾患治療に適切な投与量や投与方法を検討・確認します。

第3相試験（フェーズ3）

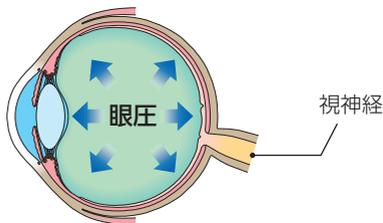
多数の患者さんを対象に既存薬やプラセボ（偽薬）と比較して安全性・有効性を検証します。

日本で、世界で 医療ニーズの高い緑内障

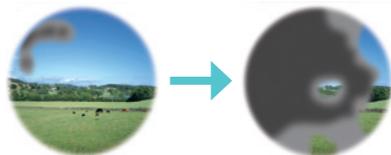
緑内障と眼圧

目から入ってきた情報を脳に伝達する器官を、視神経といいます。緑内障とは、この視神経に障害が起こることにより、視野（見える範囲）が狭くなる病気のことです。眼圧が必要以上に高くなると視神経が圧迫され、障害が起こると考えられています。進行は非常に遅く、片方の目の視野が欠けた場合でも、もう一方の目からの情報で補うため、かなり進行するまで自覚症状がほとんどないのが特徴です。

眼圧の上昇が視神経を圧迫



視野のイメージ像



初期

末期

治療の基本は眼圧のコントロール

初期に自覚症状のない緑内障は、眼科医での定期的な健診により、早期発見することが重要です。一度失った視野が回復することはありませんが、治療により、視野喪失の進行を最小限に留めること

が可能で、治療方法としては、眼圧を下げる効果のある点眼薬などにより、病気の進行を抑えることが基本となります。ただし、緑内障のタイプや程度、眼圧の高さなどに応じて点眼薬を処方する必要があります。効果を見ながら、作用の異なる複数の点眼薬を組み合わせることもあります。

充実した参天製薬の緑内障治療薬

日本人の中途失明原因の第1位となっているのが緑内障です。また、世界全体では患者さんの数が7,000万人以上におよぶといわれています。参天製薬では、2014年5月に締結した米国メルク社との契約により、9つの緑内障治療薬が製品ラインナップに加わったことで、より幅広い治療選択肢を、より多くの国や地域に提供することができるようになりました。緑内障という、極めて医療ニーズの高い病気に対し、これからも日本で、世界で治療に貢献していくために、参天製薬は新たな緑内障治療薬の開発にも注力していきます。

5%

珍しくはない緑内障

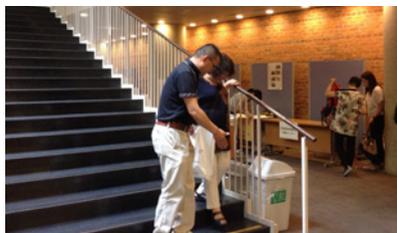
40歳以上の日本人の20人に1人が緑内障を発病しており、年齢を重ねるにつれて増えていきます。40歳を超えると、緑内障は珍しくない病気といえます。

目の不自由な方の 案内ボランティアに参加

参天製薬では、世界の患者さんのQOL向上に貢献をし続けるため、社員一人ひとりが基本理念を深く理解し社会的責任を自覚した行動をとることを求めています。その一環として、患者さんや視覚に障がいのある方と接する活動への参加を奨励しています。



2014年7月に「第23回視覚障害リハビリテーション研究発表大会」が京都で開催されました。参天製薬からは社内公募で延べ13人の社員がボランティアとして参加し、目の不自由な方の移動のお手伝いをしました。ご案内途中の会話などを通して、目の不自由な方の日常生活や、視覚障がいに至った経緯などに触れ、「世界の患者さんのQOL (Quality of Life: 生活の質) 向上に貢献する」という当社使命の重要性を再認識する貴重な機会となりました。



会場内で目の不自由な方をご案内する様子

新発売の一般用点眼薬

ソフトサンティア ひとみストレッチ (2014年9月発売)

目の疲れの原因となる、ピント調節筋(毛様体筋)のコリをほぐす2つの成分*を配合。コンタクトレンズ使用時の目の疲れを癒します。

* ネオスチグミンメチル硫酸塩・ビタミンB12



「サンテ×ももクロ ニッポンきたあ↑↑大作戦!」を展開

現代社会では、目を酷使する機会がますます多くなっています。このような状況下、世代を超えて、より多くの方々に「アイケア」への関心を持っていただきたいという考えから、2014年7月から「サンテ×ももクロニッポンきたあ↑↑大作戦!」を展開しました。シンボルキャラクターとして、ももいろクローバーZを起用し、TVCMの放映のほか、特設WEBサイトの開設など、さまざまな取り組みを行い、アイケアの重要性について訴求しました。

ももクロ
モデルを発売



社名 参天製薬株式会社

本社 〒530-8552

大阪市北区大深町4番20号

TEL：06-6321-7000 (代表)

06-4802-9360 (IR専用)

創業 1890年

設立 1925年

資本金 7,313百万円

工場 能登、滋賀

研究所 奈良研究開発センター

従業員数 3,133名

子会社一覧



PICK UP 参天製薬(中国)有限公司

2005年に設立。2007年には蘇州工場を稼働させ、現在は、200人を超えるMRが現地の医療ニーズに基づいた医薬情報提供活動を行っています。



① 株式会社クレール

事業内容：無塵・無菌服のクリーニング
出資比率：100%

② サンテン・ホールディングス・ユーエス・インク

事業内容：北米における持株会社
出資比率：100%

③ サンテン・インク

事業内容：医薬品の臨床開発、事業開発
出資比率：100%*1

④ アドバンスド・ビジョン・サイエンス・インク

事業内容：医療用具の開発・製造・販売
出資比率：100%*1

⑤ サンテン・ホールディングス・イーユー・ビー・ヴィ

事業内容：欧州事業の金融統括
出資比率：100%

⑥ サンテン・オイ

事業内容：医薬品の臨床開発・製造・販売・受託製造
出資比率：100%*2

⑦ サンテン・エス・イー・エス

事業内容：医薬品の臨床開発・販売
出資比率：100%*2

⑧ サンテン・ゲーエムベーハー

事業内容：医薬品の販売、事業開発
出資比率：100%*2

⑨ サンテンファーマ・イービー

事業内容：医薬品の販売支援
出資比率：100%*2

⑩ サンテン・スイス・エスエー

事業内容：医薬品の販売
出資比率：100%*2

⑪ サンテン・イタリー・エスアールエル

事業内容：医薬品の販売
出資比率：100%*2

⑫ サンテン・ユーケー・リミテッド

事業内容：医薬品の販売
出資比率：100%*2

⑬ 参天製薬(中国)有限公司

事業内容：医薬品の製造・販売、臨床開発
出資比率：100%

⑭ 参天医薬販売(蘇州)有限公司

事業内容：医薬品の販売
出資比率：100%

⑮ 韓国参天製薬株式会社

事業内容：医薬品の販売、臨床開発
出資比率：100%

⑯ 台湾参天製薬股份有限公司

事業内容：医薬品の販売
出資比率：100%

⑰ サンテン・インドア・プライベート・リミテッド

事業内容：医薬品の市場調査
出資比率：99.9%、0.1%*1

⑱ サンテン・ファーマシューティカル・アジア・プライベート・リミテッド

事業内容：アセアン地域におけるグループ内薬事業および事業推進
出資比率：100%

*1 サンテン・ホールディングス・ユーエス・インクを通じた間接出資

*2 サンテン・ホールディングス・イーユー・ビー・ヴィを通じた間接出資

株主メモ

事業年度

4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会

6月

基準日

定時株主総会 3月31日

期末配当金 3月31日

中間配当金 9月30日

単元株式数

100株

公告方法

電子公告

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

公告掲載 URL : <http://www.santen.co.jp/jp/pn>

証券コード

4536

上場証券取引所

東京証券取引所

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

TEL : 0120-094-777

株式に関するお手続きについて

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）にお問い合わせください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行の本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。

お問い合わせ先

参天製薬株式会社

コーポレート・コミュニケーショングループ

〒530-8552 大阪市北区大深町4番20号

TEL : 06-6321-7000 (代表)

06-4802-9360 (IR専用)

Email : ir@santen.co.jp

URL : <http://www.santen.co.jp>



ホームページに最新の情報を掲載しております。
ぜひご覧ください。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



FSC® 認証紙と植物油インキを
使用しています。